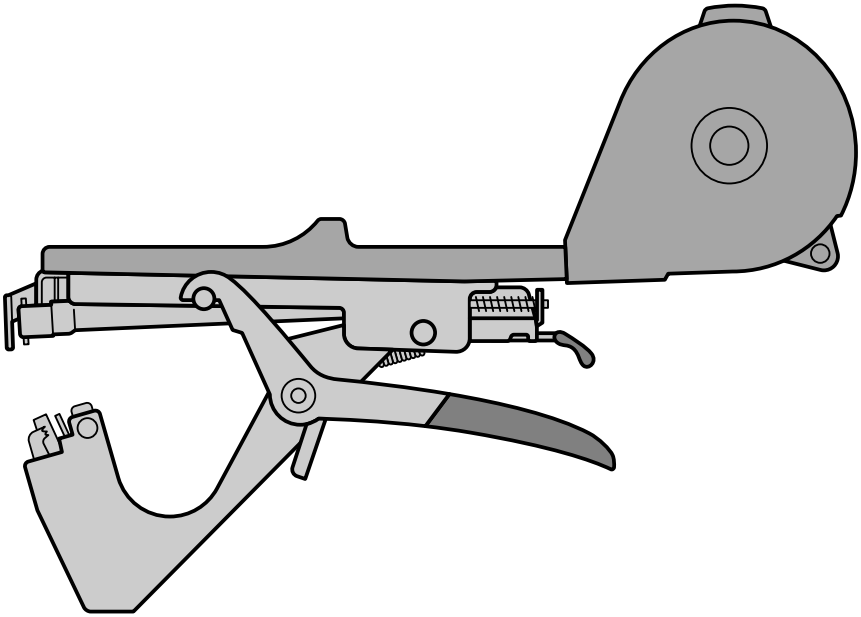
マックス園芸用結束機

テープナー® HT-B〈N〉

取扱説明書



⚠警 告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。
●使用前に正常に作動するか必ず確認する。
　正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
●マガジンユニットの先端付近にはギザ刃及びステープルの射出口があるため絶対に指を当てない。
●異常を感じたら絶対に使用しない。
●カラ打ちを絶対にしない。
●ギザ刃は指定のものを必ず使用する。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス園芸用結束機HT-B(N)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

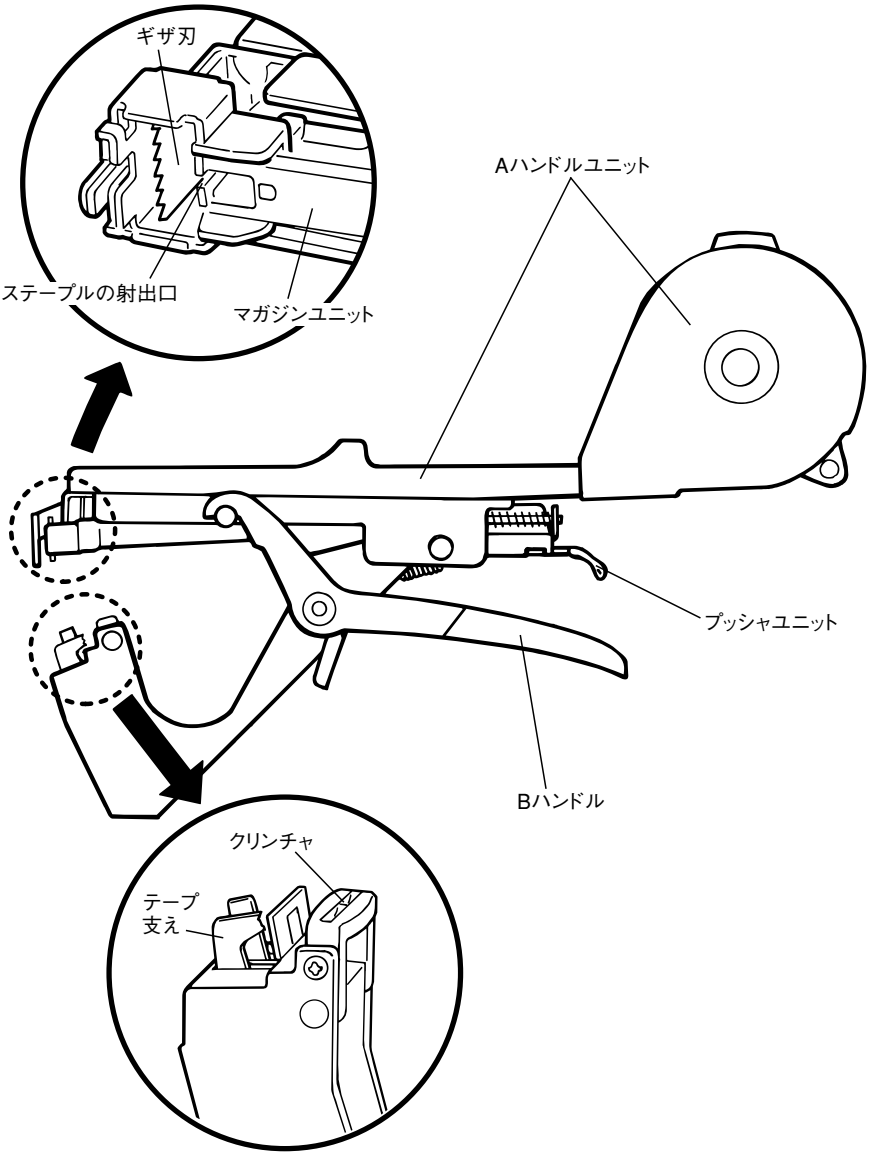
■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　　次

1. 各部の名称 …… 1
2. 安全作業のために …… 2
3. 仕様 …… 4
4. 使用方法 …… 5
5. 使用後 …… 9
6. 分解図・部品名称表 …… 10
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称


ギザ刃
ステープルの射出口
マガジンユニット
Aハンドルユニット
プッシャユニット
Bハンドル
クリンチャ
テープ
支え

2 安全作業のために

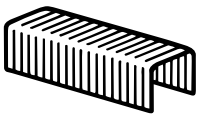
本機は、果樹などの棚誘引結束、野菜などの支柱誘引結束、つる上げ誘引結束を行うことを目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

⚠ 警 告

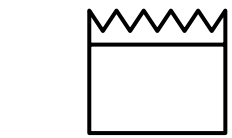
❶ステープルは、指定のものを必ず使用する。
（5ページ 4.使用方法参照）

❶



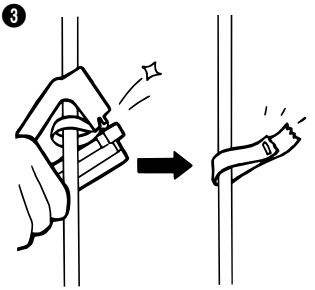
❷ギザ刃は指定のものを必ず使用する。
ギザ刃は必ずテープナー(N)用ギザ刃を使用してください。指定以外のギザ刃の使用は、刃先の破損、及び機械故障の原因となります。

❷



❸使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
使用前に支柱など棒状のもので、本機が正常に作動するか確認してください。正常に作動しなかったり、結束できない場合は、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に修理に出してください。

❸



❹（テープを入れる時）マガジンユニットの先端付近には、ギザ刃及びステープルの射出口があるため、絶対に指を当てない。

❹

2 安全作業のために

作業中

⚠ 警 告

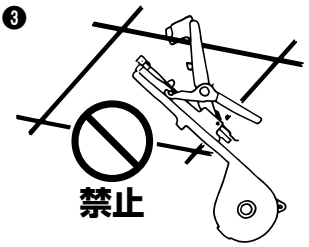
❶2度打ち（ステープルがクリンチャに残っているうちに、次のステープルを打つこと）を絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。

❷空打ちを絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。

❸棚の播線・支柱に本機を絶対に掛けない。
一時的に使用を中断するときに（及び作業終了後）本機を棚の播線や支柱等に掛けたまま放置しないでください。落下による事故や落下による本機の故障の原因となります。

❶❷

❸



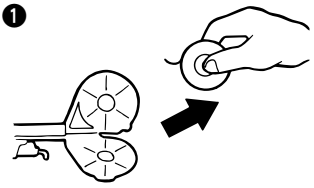
作業後

⚠ 警 告

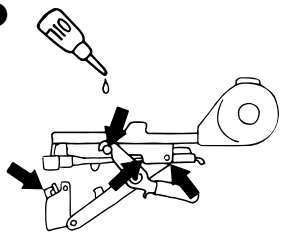
❶使用後は、テープ・ステープルを機械から必ず抜き取り保管する。
テープを取り出す際は、必ずAハンドルユニットのテープ通り道のフタを開けてください。
（5ページ ⚠注意参照）

❷摺動部には必ず注油する。
本機の性能を維持するために、作業終了後に摺動部に注油してください。
（9ページ 5.使用後参照）

❶



❷



3 仕様

商品名	マックス園芸用結束機テープナー
商品記号	HT-B（N）
寸法	（W）29 ×（L）342 ×（H）158mm
質量	525g
結束範囲	最大45mm ϕ
ステープル装填数	604C-L/200本×1連　604E-L/172本×1連
付属品	吊り下げ用ストラップ

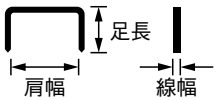
4 使用方法

【ステープルの入れ方】

⚠注 意

●ステープルは指定のものを必ず使用する。

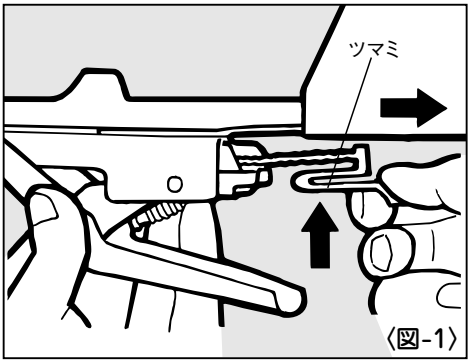
●使用ステープル



604C-L	足長4mm 肩幅6mm 線幅0.5mm
604E-L	足長4mm 肩幅6mm 線幅0.58mm

❶左手で本体を握り、右手でプッシャユニットのツマミを上に押し上げ、そのまま後方へ引き出します。 〈図-1〉

❷右手でステープルをつまみ、ステープル足を下にしてマガジンユニットの中に入れ、プッシャユニットをセットします。



〈図-1〉

【テープの入れ方】

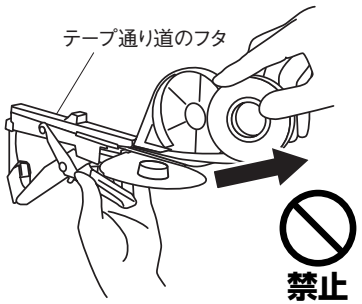
⚠注 意

●テープは指定のものを必ず使用する。

●マガジンユニットの先端付近にはギザ刃及びステープルの射出口があるため、絶対に指を当てない。

●テープを取り出す際は、必ずAハンドルユニットのテープ通り道のフタを開ける。

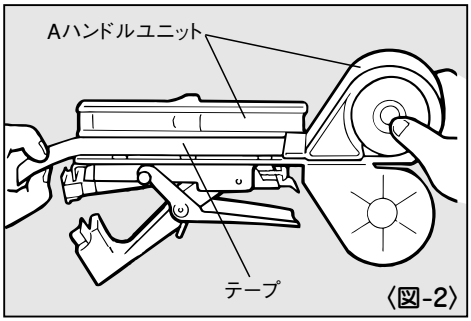
テープ通り道のフタを閉めたままテープを引張り、取り出すと、テープが切れますので、テープ通り道のフタを開けた状態でテープを取り出してください。



●使用テープ

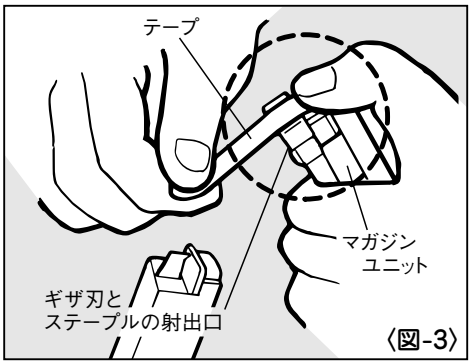
テープ種類	製品記号	色	寸法(厚さ)×(幅)×(長さ)
光分解テープ	TAPE 100-R	クリーム	0.1 mm×11mm×38m
	TAPE 200-R	ペイルグリーン	0.2 mm×11mm×19m
	TAPE 200-L	ピンク	0.2 mm×11mm×19m
テープナー用テープ	TAPE-10	白	0.1 mm×11mm×40m
	TAPE-15	青	0.15mm×11mm×26m
	TAPE-25	赤	0.25mm×11mm×16m
テープナー用鏡面テープ	TAPE-15M	鏡面	0.15mm×11mm×26m

❶Aハンドルユニットのふたをあけ、テープを入れ、ふたを『パチン』と音がするまで閉じます。 〈図-2〉



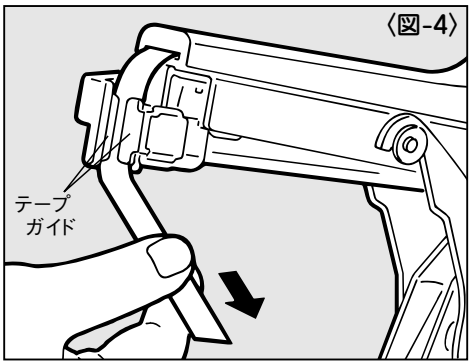
〈図-2〉

❷次にテープをセットします。左手親指でAハンドルユニット先端部を軽く押え、右手でテープ先端を持ちます。 〈図-3〉



〈図-3〉

❸テープを下方へ引き、テープガイドの中にテープを通します。 〈図-4〉



〈図-4〉

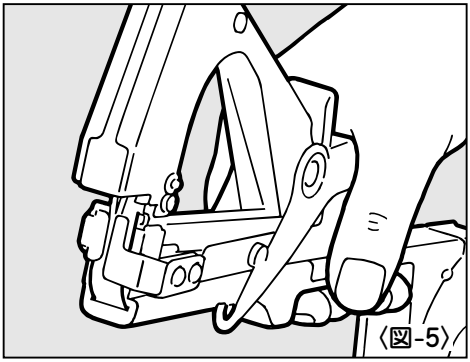
⚠注 意

●Aハンドルユニットの先端付近にはギザ刃と、ステープルの射出口があるので絶対に指を当てない。

【テープの引き出し方】

❶ハンドルを軽く握るとテープ支えがテープ先端を押えます。　〈図-5〉

❷その状態でハンドルをもどすと、テープが引き出されます。


〈図-5〉

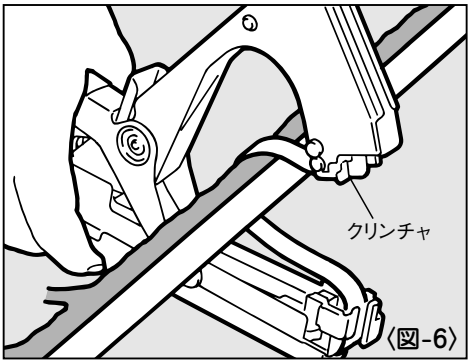
【結束方法】

⚠注 意

●空打ちを絶対にしない。

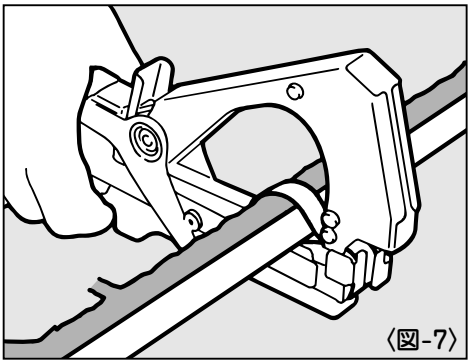
空打ちをしますと、ステープルづまりの原因となりますのでさけてください。

❶結束物にテープを当てがい、機械の中に入るように押し込みます。　〈図-6〉



〈図-6〉

❷ハンドルを強く握りますと、結束物はテープとステープルにより結束され、同時にテープは切断されます。　〈図-7〉


〈図-7〉

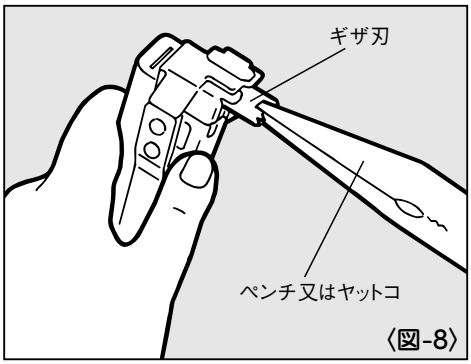
【ギザ刃交換】

⚠ 警 告

●ギザ刃は必ず指定のものと交換する。
お買い求めの販売店で、テープナー(N)用ギザ刃とご指定の上、お買い求めください。指定以外のギザ刃の使用は、刃先の破損、及び機械故障の原因となります。
●ギザ刃を交換する時は、ステープル射出口に指を絶対に当てない。
●ギザ刃の抜き取り、挿入はペンチ又はヤットコを必ず使用する。

❶ギザ刃の耐久限度は約10万回です。テープを切断しなくなりましたら、新しいギザ刃と交換してください。

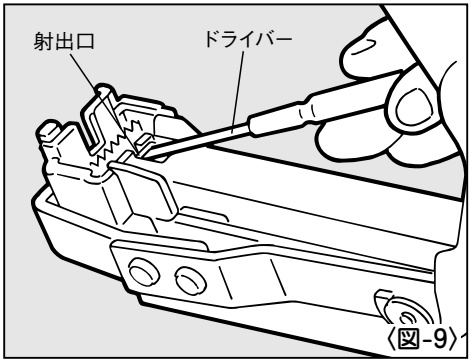
❷Aハンドルユニット先端部とマガジンユニットを左手ではさみ、ギザ刃をペンチ又はヤットコ等で抜き取り、新しいギザ刃の刃先を傷つけないように入れてください。 〈図-8〉



〈図-8〉

【針(ステープル)づまりの直し方】

❶針がつまったらードライバーなどを使って、射出口からつまった針を取り除いてください。 〈図-9〉



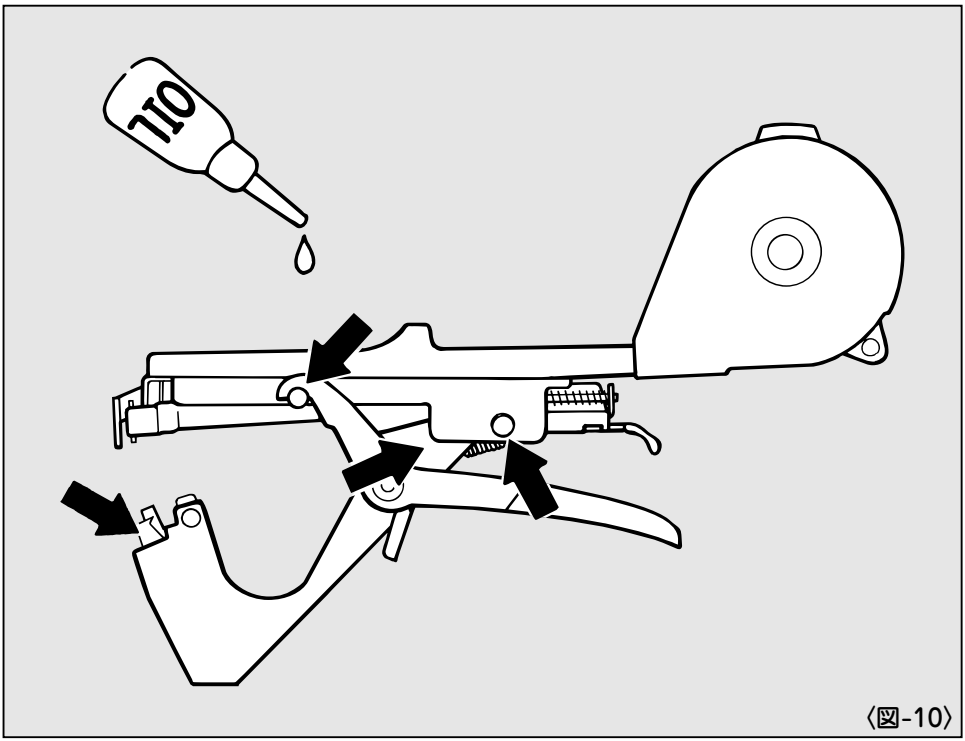
〈図-9〉

5 使用後

⚠注 意
●使用後は、テープ、ステープルを機械から必ず抜き取り、保管する。 ●摺動部には必ず注油する。

【注油部】

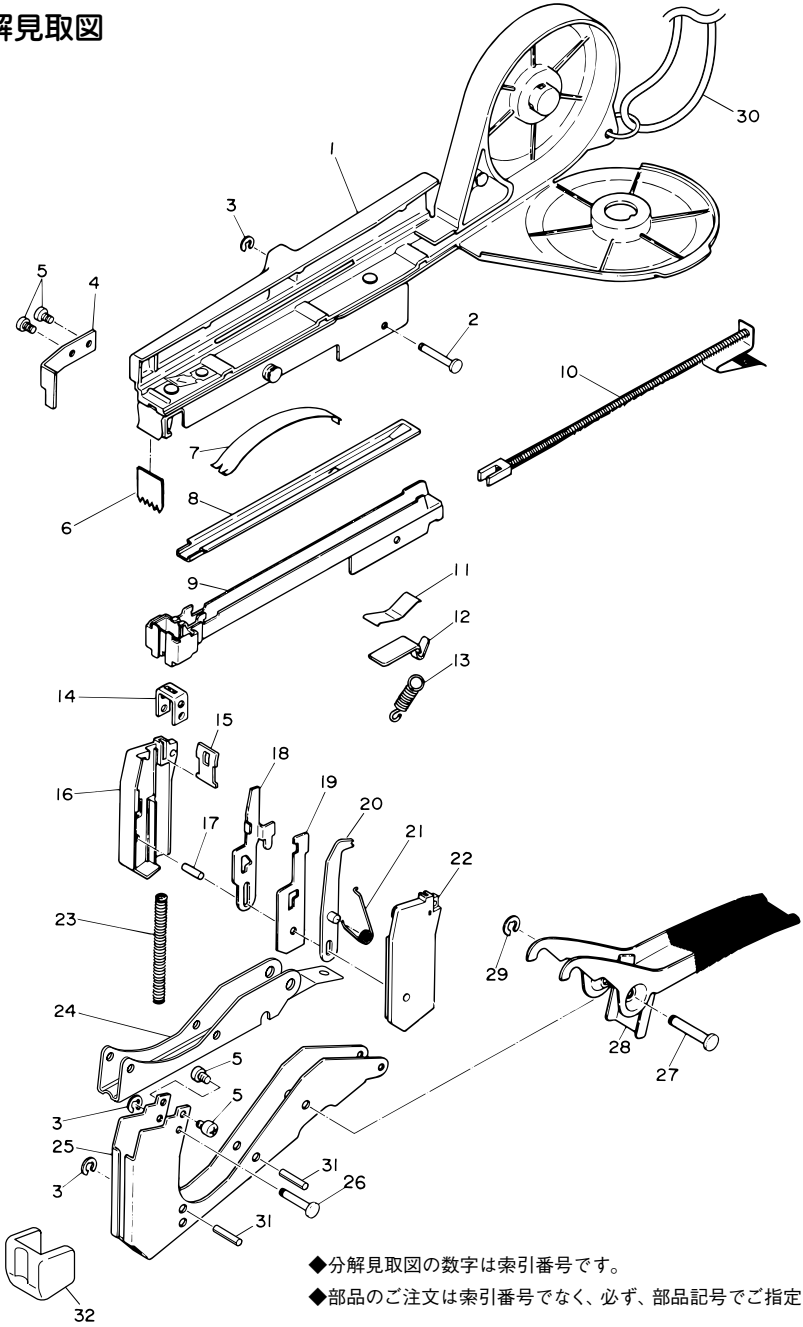
本機の性能を維持するために、作業終了後は摺動部に注油してください。　〈図-10〉



〈図-10〉

6 分解図・部品名称

●分解見取図



◆分解見取図の数字は索引番号です。

◆部品のご注文は索引番号でなく、必ず、部品記号でご指定ください。

●部品名称　HT-B(N)

索引番号	部品記号	部品名	HT-A	HT-B	HT-A(N)
1	HT70010	Aハンドルユニット	×	×	×
2	FF41229	段付ピン1229	×	○	×
3	JJ10104	E. トメワ2.3	○	○	○
4	HT10066	ロッド押え	×	○	×
5	AA21102	十ナベ小ネジ3×4	○	○	○
6	HT10040	ギザ刃A	○	○	○
7	KK51011	板バネ1011	○	○	○
8	HT10025	ステープルカバー	○	○	○
9	HT70020	マガジンユニット	×	×	○
10	HT10027	プッシャユニット	○	○	○
11	KK51012	板バネ1012	○	○	○
12	HT10026	フック	○	○	○
13	KK13001	引張バネ3001	○	○	○
14	HT10013	クリンチャ	○	○	○
15	HT11202	支え	×	×	×
16	HT10052	Aケース	×	○	×
17	FF30103	平行ピン103	×	○	×
18	HT11205	プッシュロッド	×	×	×
19	HT11206	クラッチ板	×	×	×
20	HT11204	テープ支えユニット	×	×	×
21	KK33003	捩りコイルバネ3003	×	○	×
22	HT10053	Bケース	×	○	×
23	KK23006	圧縮バネ3006	×	○	×
24	HT11247	カバー	×	○	×
25	HT10051	クリンチャアーム	×	○	×
26	FF41221	段付ピン1221	×	○	×
27	FF41228	段付ピン1228	×	○	×
28	HT10060	Bハンドルユニット	×	○	×
29	JJ10103	E. トメワ3.2	○	○	○
30	HT11242	ヒモ（グリーン）	×	×	×
31	FF21220	スプリングピン3×16	×	×	×
32	HT70021	プロテクタユニット	×	×	×

○　共通部品です。
×　固有部品です。

— MEMO —

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

MAX®

マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824 盛岡市東安庭２－10－３	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933 宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871 柏市若柴297－12	TEL(0471)32-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022 立川市錦町５－17－19	TEL(042)528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117 浜松市高丘東２－22－15	TEL(053)439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町３－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081 三条市東裏館２－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043 水戸市松ヶ丘２－３－27	TEL(029)255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844 前橋市古市町233－５	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0044 さいたま市日進町３－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001 四街道市大日1870－１	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘７－６	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033 松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247 長野市青木島１－35－１	TEL(0262)85-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036 静岡市敷地１－３－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸２－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827 富山市上飯野字樋向割10－８	TEL(0764)52-0182㈹
福井営業所	〒918-8237 福井市和田東２－1711	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832 神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404 三木市大村109－１	TEL(0794)83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田３－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町761－３	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866 徳島市末広１－４－25	TEL(0886)23-0286㈹
松山営業所	〒790-0951 松山市天山２－１－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031 高崎市上大類町412	TEL(027)350-7821㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0044 さいたま市日進町３－421	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035 広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。